

市民が安心して住み続けられる市政に

日本共産党

全国でもすぐれた八尾市の医療費無料化制度 改悪やめよ (国保の一部負担金減免制度)

八尾市はこれまで、一定所得以下の国保加入者が病気やけがをした場合、1年の内6か月間医療費を無料にする「一部負担金減免制度」を実施してきました。これは、憲法25条で謳われている生存権保障であり、「市民の命綱」です。昨年度の八尾市での利用件数は約4300件で、東大阪市と並び、全国的にも優れた制度

となっております。

八尾市は、来年4月から74歳まで引き上げる一方で、国・府の国保広域化方針に沿って所得制限や条件を厳しくし、ほとんどの市民が利用できない制度に縮小、改悪しようとしています。

「命の切り捨てやめて」

3年ほど前にがんの手術を受け、現在、抗がん治療で通院中。一部負担金減免制度が利用できなくなれば、治療が続けられず、「死ね」と言われているようです。(60歳代女性)

現在、アルバイト中。預貯金が多少でもあればタメとなつたら、ほとんどの人が受けられない。病気やケガをしたら体どうなるのか、とても心配!!(30歳代男性)

お問い合わせは、日本共産党議員団へ



制度利用者の8割が切り捨てに!!

- 改悪1 外来および調剤(薬)は、「特別の事情」(左①②③)がある場合だけ(所得制限も)
- 改悪2 入院の場合も、預貯金が生活保護基準の3か月以下
- ① 震災、風水害、火災等の災害による死亡、資産損害
- ② 干ばつ、冷害など農作物の不作等による収入減少
- ③ 事業または業務の休廃止、失業などによる収入減少
- ④ 前各号に掲げる事由に類する事由があったとき

12月議会に、八尾社会保障推進協議会から改悪中止を求める請願が提出されています。

身近で便利な出張所をなくさないで

来年4月から、出張所で住民税や国保料などが払えなくなる!!



曙川出張所

八尾市は今年度、「地域拠点あり方検証委員会」を設置し、出張所機能をなくす方向を打ち出しました。12月議会に市長は、来年4月から、出張所で住民税や国保料などの公金を取り扱わない条例改定を提案。コンビニや市役所で納付を、としています。今後、住民票や印鑑証明などの諸証明発行は、自動交付機が本庁で、婚姻届や住民票移動などの届け出業務は本庁で、出張所機能はなくす計画。高齢者や障害者、地域から「身近な出張所をなくさないで」と悲痛な声が沸き起っています。

出張所(機能)をなくさないで!! 市役所まで遠くへ行けません。自動交付機は5台しかなく、前もって市役所で住民基本カードを作らないと機械が使えません。これまで通り、出張所で市職員が対応してほしいです。



安心して子育てができる八尾市に

保育所・幼稚園・子ども医療・中学校給食・クーラー設置の拡充を!!

現在、八尾市の子育て・少子化対策は全国的に見ても改善が求められています。

「子育てするなら八尾市」といえるよう、日本共産党は子ども医療拡充・中学校給食実現・小学校にクーラー設置などを市に求めてきました。12月議会でも、子育て支援を求める市民からの請願署名が議会に届けられています。

日本共産党は、市民のみならず一緒に採択めざしてがんばります。

幼保一体化「先行整備」計画は撤回を

「子ども達の豊かな育ちこそ」市民の会が請願提出

八尾市と教育委員会は、2012年12月、「幼保一体化の推進について」を発表。公立幼稚園(山本・西山本・安中)と公立保育所(堤・安中)を廃止し、2016年度「幼保連携型認定こども園」を2園開園する、としています。市民的議論も専門家の意見聴取も行わないまま、公立保育所と公立幼稚園を全廃し、2016年度に幼保一体化施設(認定こども園)をつくる計画を一方的に推進するやり方に、批判の声が高まっています。

これらの計画については、八尾市教育委員会でも決定されていません。今回、「幼保一体化を考える市民の会」から「幼保一体化先行整備計画の撤回を」子ども達の豊かな育ちが保障できるように慎重に検討を、と求める請願が提出されました。

安中地域 所敷地) 安中幼稚園・安中保育所(所敷地)

山本地域 所敷地) 山本幼稚園・堤保育所(所敷地)

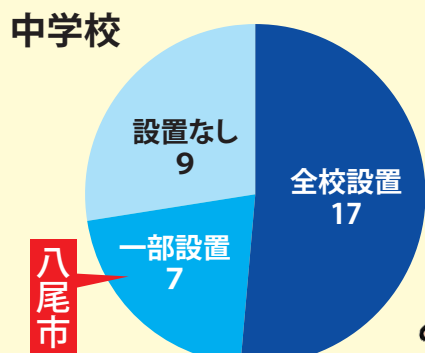
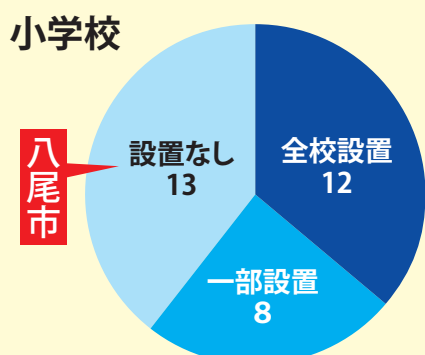
幼稚園の3年保育について

私立幼稚園の99%以上が実施
公立幼稚園の4割が実施(10年間に2倍増)
※八尾市の幼稚園では私立100%公立0%

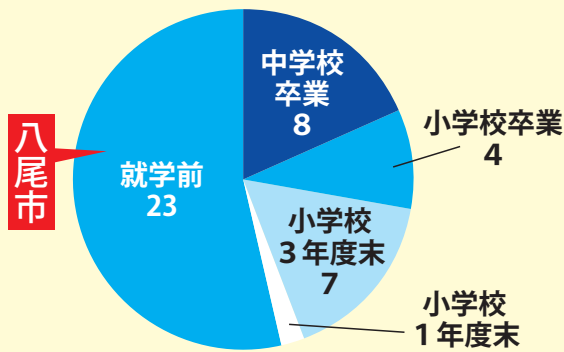
少人数学級の実施状況 (47都道府県)

小・中学校の全学年で少人数学級を実施
小学校1・2年のみ少人数学級を実施
小・中学校合わせて3年以上で少人数学級を実施

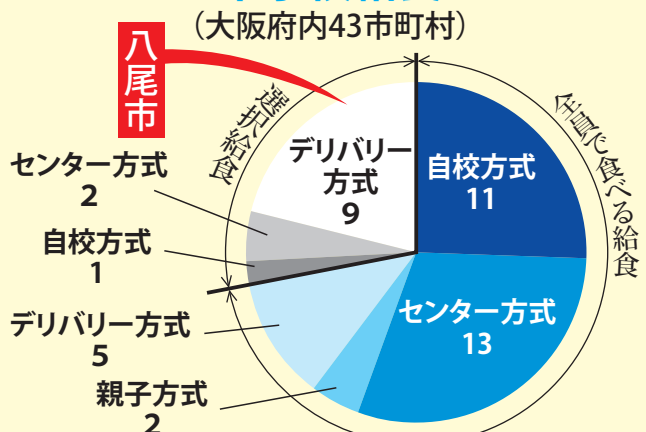
普通教室クーラー設置状況 (大阪府内33市)



乳幼児医療・通院 (大阪府内43市町村)



中学校給食 (大阪府内43市町村)



9月議会「安心・安全で住みやすい八尾市めざす請願」(新日本婦人の会)に対する会派、議員の態度

日本共産党は、請願の紹介議員となり、採択に向け奮闘しましたが、自民・公明・維新の会・創造やおの反対で不採択になりました。

件名(略)	日本共産党	自民党	公明党	維新の会	市民クラブ	創造やお
① 医療費助成制度通院も中学校卒業まで	○	×	×	○	×	×
② 全員で食べる中学校給食を	○	×	×	×	×	×
③ 普通教室にエアコン設置を	○	○	×	×	×	×
④ 小中学校の統廃合を行わないこと	○	×	×	×	×	×
⑤ 就学援助・奨学金制度の拡充を	○	×	×	×	×	×
⑥ 問題の多い幼保一体化は止めること	○	×	×	×	×	×
⑦ 「かがやき」の監視カメラを撤去を	○	×	×	×	×	×
⑧ くらし学習館を自由に利用できるように	○	×	×	×	×	×
⑨ 家庭ごみの有料化をしないこと	○	×	×	×	×	×

賛成は○、反対は× ※議長には表決権がありません。